

司書養成における「主題専門分野の知識」を深める創作活動

設 樂 馨

はじめに

女子大学の学びにあって司書課程とは、「女性のキャリア形成や社会進出に繋がる教育活動」であり、かつ、「所属する大学の教育方針に合致した教育内容を提供できる司書課程」が求められる¹⁾。このうち、筆者が担当する2020年度後期開講「図書館情報資源特論」は、シラバス「授業の到達目標」²⁾のとおり、「図書館情報資源論」からさらに発展的に学習する科目である。

「発展的」に関し、文部科学省の報告「図書館職員の研修の充実方策について（報告）」の「2 研修の課題と改善方策」³⁾では、初任者ならば「地域における図書館の意義や役割を認識する」ことが必要で、キャリアアップ研修ならば研修内容として「司書養成科目の内容についての最新の知識・技術」や「主題専門分野の知識など」を挙げている。

そこで現・養成課程に置かれた本科目では、初任者で重視する「地域」や、キャリアアップ研修で扱う「主題専門分野の知識」を取り上げるのも良いだろう。「地域」の取り組みは桂（2020）に詳しい。本科目はもう一方の「主題専門分野の知識」に注目した。

本稿では、「図書館情報資源特論」で実践した創作活動が、「主題専門分野の知識」として受講生の「学位授与の方針」に関わる専門分野を応用できたのか、検討する。

1. 図書館情報資源特論とは

1. 1. 本科目の概要

司書養成カリキュラムにおいて、「図書館情報資源特論」は選択科目、1単位である。選択科目は7科目より2科目選択する。受講生のなかには、司書課程すべての科目を履修したいから受講した、という上級学年もいたが、通常は7分の2のうちの1科目として選択するものとなる。以下、本科目シラバス「学生へのメッセージ」を部分的に抜粋し、創作活動の授業スタイルを説明する。

学生へのメッセージより

製作物では蓄えた知識を足掛かりに創作をする。ただし、知識をストレートに発表するものではない。例えば、知識を漢字1字に代表させ、その漢字をキャラクター化してストーリーを膨らませる。こうした詳しい表現方法はLMSで伝え、その方法ができるよう、メールも使って支援する。

以上のように、授業で創作活動をすること、その「足掛かり」として蓄えた知識を利用すること、方法は対面ではないことを示した。今年度は、感染症対策のため初回（9月）と第7回（10月）の作品共有のみ対面授業、製作過程は資料配信型で進行した。創作を進めるなか、周囲の進捗が分からないこと、手順が一方通行で提示されることは、受講生の負

担が大きいと予想される。実際、履修登録者22名のうち、最終的に創作活動の作品として完成に至ったのは17名であった。

1. 2. 発展的学習に生かす「主題専門分野の知識」

「主題専門分野の知識」とは、ここでは学生の所属する学科の課程とする。本学は、学士取得の課程が司書課程とは別途、所属学科に設けられている。この所属学科の専門的な知識を、創作活動におけるテーマとして意識することで、専門分野を主題とする情報資源に精通できると考えた。受講生の所属する学科は次のとおり。

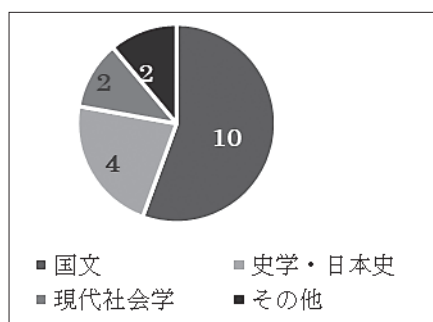


図1 所属学科

「国文」学科は3年生3名、2年生7名である。そのほかの学科を含め、受講生全体の4分の3は2年生である。本科目が後期開講科目であること、2年生の受講生が多いことより、4年間で修得する専門分野の知識のうち、1年半は学修した者が多いことが分かる。国文学科の「学位授与の方針」における「知識・理解」の第一項目によれば、「国文学と国語学の分野」について、高度の専門知識・理解・技能を有している、とある。史学科は「歴史学」（受講生はすべて日本史）、現代社会学は「現代社会の諸分野」、その他は「教育学」と「心理学」で、それぞれの分野

で高度の専門知識・理解・技能を有することになる。

学科ごとに異なるが、本稿ではこれらを「専門分野」として位置付ける。ただし、上述の「学生へのメッセージ」の通り、テーマに関し「蓄えた知識」としただけで、受講生負担を考慮し、あえて専門分野に限定するような指示を与えていない。

2. 創作活動の流れとテーマ

2. 1. 創作活動の準備

専門分野をテーマとする創作活動に取り組むのは、授業回数で第7回以降となる。第1回授業で、対面にて2種の製作物のイメージを共有した。2種とは、第2回から第6回で製作する『みつけてみよう』と、第7回から第13回で創作するものである。

『みつけてみよう』は、受講生一人につき、1ページ（画像が縦長の場合）もしくは、見開き2ページ（画像が横長の場合）を担当して、画像と文章を組み合わせる。受講生全員で24ページとなった。（図2は表紙と見開きの一例。表紙に受講生の名前と担当ページを掲載。設楽2018⁴⁾では、この創作活動はペアワークだが今年度はオンラインによる資料配信型で、個々人で取り組む課題である。）

『みつけてみよう』は、ここ数年、本科目

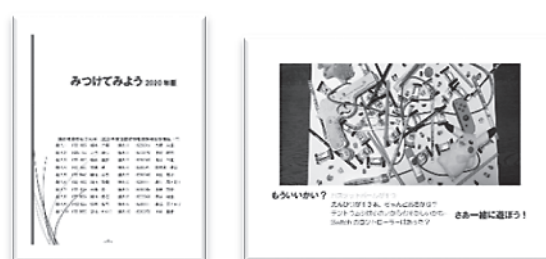


図2 みつけてみよう2020年度

で取り組んでいる。著作権や読者の視点について学ぶとともに、編集して完成する図書製作の流れを知るためである。著作権とは、画像に使える被写体等を知るのに有用である。読者の視点とは、読者が子どもなら文字を平仮名の分かち書きにするか、漢字に振り仮名を振るか、あるいは、漢字を使っても振り仮名は振らないかなど、各自で検討することで培ってもらう。また、各々が担当したページを1冊に統合する際、今年度はOne Driveで他の受講生のページを閲覧し、冊子全体を意識しながら校正させた。こうして、受講生が一度は図書を製作する流れをつかみ、著作権や読者の視点を理解した後、創作活動へ入る。

2. 2. テーマの発想（初期）

創作活動の第一歩として、第7回対面授業にて創作におけるテーマについてアイデアを発散し、発表で共有した。

表1 アイデアの発散

国文	日本史	現代社会学	その他
文学、料理、菓子、音楽、色、きれいなもの、本	歴史、和風、色、キラキラしたもの、コスメ、古典的	心理、中国、食べ物、ドラマ、音楽、アニメ、漫画	教育、お菓子作り、チョコレート、動物、猫、本、小説

表1は、アイデアの発散として、「自分が知っていること、興味関心の強いもの」を記述させたところから抜粋して作成した。下線を引いたものは「専門分野」と関連している。例えば、「国文」における「文学」や「本」、「日本史」における「歴史」や「和風」、「古典的」などである。司書課程のため、ほぼいずれでも「本」に関係する語句が挙がっているが、現代社会学で「本」に相当するものはなく、物語性のあるものとしてドラマ、アニ

メ、漫画が見られた。

2. 3. 創作手順

アイデアを発散してテーマの発想（第7回授業）をした後、テーマに関連しそうな情報資源を調査し、もう一度、テーマにしたいことを考え直す（第8回授業）。さらに情報資源を追加してテーマの深掘りをする（第9回授業）。登場人物や物語の舞台（時や場所）など、さらに発想を広げる（第10回授業）、といった手順で、最終的に登場人物の相関図（第11回または第12回）と、ストーリーの展開（第12回または第11回）を決めた。（各回に使用したワークシートは、本稿末尾の注を参照。）

2. 4. 完成後のテーマ（末期）

その結果、完成した創作作品ではどのようなテーマになったのか。表2にまとめる。

表2 創作作品のテーマ

国文	日本史	現代社会学	その他
漢字、小説、詩、中国ポップカルチャー、イギリス、菓子作り	コスメ、色、妖怪など目に見えないもの、苗字	言語、心理	多様性

専門分野に限らず、関心の度合いの強いものの、例えば「国文」で「中国ポップカルチャー」や「イギリス」、「日本史」で「コスメ」といったものも完成したが、「国文」で「漢字」「小説」「詩」といったものは、専門分野に直結するものと言える。漢字は日本語学、小説（小説や本の魅力）・詩（谷川俊太郎「生長」）は日本文学がテーマである。日本史で「色」「妖怪など」「苗字」も歴史的な由来を扱っていて、専門分野に直結している。

現代社会学で「言語」は英語や中国語、アラビア語、韓国語といった言語が擬人化され、各種言語の特徴を知ると同時に、国際関係の風刺になっている。これも専門分野に直結する。「心理」は、現代的な女子高生の悩みとして、受験や勉強、容姿のコンプレックスなどがテーマである。現代社会学そのものが学際的な専門分野なので一応、専門分野に関するものと言えるだろう。

3. 主題専門分野の知識

主題専門分野の知識が明示的に反映されたと考えられるケースで知識が深められたのか、具体的な手順を追って確認する。「漢字」と「多様性」について、授業で使用したワークシートを抜粋して見ていく。

3. 1. 漢字

漢字は、シラバス「学生へのメッセージ」や第1回授業での製作物のイメージとして取り上げた。図3は、第1回授業で取り上げた「あめかちゃん」である。漢字の部首をキャラクターにしたもので、筆者が監修を務める漢字コンテンツに登場する。受講生へ配布した資料では、「漢字1字をキャラクター化してもいろいろなストーリーが想像できる」と説明した。



©(株)コトバノミカタ

図3 雨冠のお姫様、あめかちゃん

ところで、創作作品に取り掛かった10月に感染症は第二波を乗り越え、生活や授業は安定しており、図書館が十全に利用できる社会状況であった。受講生は、多分野かつ多様な図書館情報資源が活用できた。(万一、感染症拡大により入構禁止の措置が取られるなど図書館が利用できない場合には、ジャパンナレッジLib⁵⁾などに限定されたであろう。) 漢字をテーマとしたのは2名で提出日を守り、かつ、完成度が非常に高いものだった。作品概要を表3に示すとともに、イラストが非常に繊細で表情豊かで魅力的だった『花の魔法』は図4で一例を示す。

表3 テーマ：漢字

タイトル	ページレイアウト
花の魔法	表紙、本文とイラスト4ページ ※各ページにイラスト有
かんむりひめと魚の大将 ～魚の漢字と句を学ぼう～	表紙、本文3ページ、 ※イラストはフリー素材1図のみ



図4 『花の魔法』イラスト(1ページ目)

同じ漢字といえども、両者の発想は大きく異なる。『花の魔法』は、魔女が漢字を書くと魔法を発動させる漢字魔法の練習をする物語で、図4左の女の子が「見習い魔女カナナ」、その隣の鳥が「使い魔カナタ」、他に「先生魔女ワコ」が登場する。魔女の物語『トリシア、ただいま修行中!』『トリシア、

先生になる!?!』『トリシア先生、大逆転!?!』⁶⁾を参考にドジな魔女が成長する物語を想起し、魔法と漢字を結びつけることを構想した。「第8回情報資源の調査」から、魔法と漢字を結びつけた構想の初期の様子を抜粋する。

魔法は発動させたい事象に関する正しい漢字を書くと発動する。違う字を書いたり、誤ったりすると、うまく発動しなかったり、違う効果が発動する。

もう一つ『かんむりひめ』（以下のタイトルは略）は、筆者が提示した「あめかちゃん」（図3）が登場する。漢字の部首がお姫様になった「あめかちゃん」は、友だちと一緒に遊んでいるうち、魚の大将に出会う。大将が魚料理を作り、大将が着けているおしゃべりなエプロンが魚の匂いを説明する。鱈について楽しく美味しく学ぶ物語である。受講生は、第8回で字書『新字源』のほか、魚の匂いについてのインターネット資料⁷⁾を参照し、全ての季節について調査した。「魚の大将」という、受講生オリジナルのキャラクターは「第8回情報資源の調査」で発案された。

キャラクターのイメージとしては、料理人（男）で、「魚」偏の腰エプロンをつけている（魚偏は、下の点々が裾っぽく見えるので）。他のキャラクターたちのお腹が空いたとき、匂いの魚で何かしら料理を作ってくれる。調理する魚は、その辺の川や海でさっと釣ってくるか、クーラーボックスで持ち歩いている設定。

『花の魔法』では、参照する魔女の物語においてイラストの魅力が強い。比例するよう

に、当該受講生の作品でもイラストに力点が置かれている。（イラストについて、教員から具体的な指導はしていない。）一方、『かんむりひめ』は漢字と魚の匂い、魚を使ったメニューまで、調べていくうちに情報量は豊かになった。しかし、豊かな情報量をどう収めるのか、が懸案となった。そのため、教員は制作途中の課題へのコメントとして季節を絞る、字を限定するなど、授業時間内に完結するように、情報を厳選することを促した。

3. 2. 多様性

表2「その他」に含めた「教育学」の受講生は、「多様性」という抽象的なテーマを選定した。テーマが「漢字」や「色」であれば、具体例として何かを指定することで物語やキャラクターを想起しやすい。では、抽象的なテーマではどのように発想、調査、構想へ進んだのか。

「第7回アイデアの発想」では、感覚や経験を「当たり前や普通が存在しない」「人それぞれで同じや永遠がない」「今を大切にする」として、いくつかのキーワードを導いた。「第8回情報資源の調査」で『僕らは奇跡でできている』『星の王子さま』といった物語、『みえるとかみえないとか』『スイミー』『タンタンタンゴはパパふたり』⁸⁾といった絵本を参考に、前回のキーワードから「多様性」というテーマへ至った。「第9回テーマの深掘り」では登場人物を多数、書き足した。

- ・ぞう…大きな体、力もち、長い鼻、ゆっくり
- ・アリ…小さな体、働き者、家族がたくさん
- ・キリン…首が長い、背が高い、高い物

をつかめる

- ・ウサギ…ピョンピョン跳ねる、自慢屋、モコモコ
- ・カメ…背が低い、ゆっくり、甲羅がついている
- ・トリ…綺麗な声、空を飛べる、小さい、綺麗

その後、展開を煮詰めて、タイトル『あなたの世界はどんなもの?』及び、ページ組、抽象的な画像(図5参照)を追加し、計6ページの絵本となった。完成版では、登場順でアリ、ウサギ、カメ、キリン、トリと多様な動物がそれぞれの視点から見る「世界」を語り、「なにが見えるかな。あなたに見えるものが全てとは限らない。」と、図5の画像とともに閉じる。

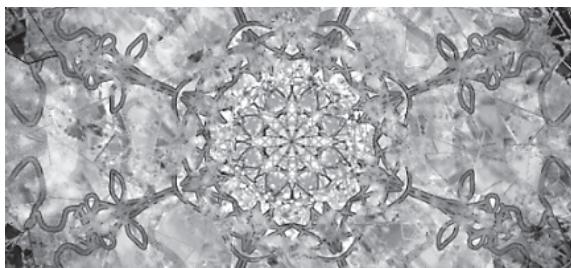


図5 『あなたの世界はどんなもの?』画像(裏表紙)

3. 3. 情報資源を調査して発想、構想すること

本科目の創作活動は、創作のテーマに関する情報資源を調査し、その調査結果を元に発想し、構想を組み立て、創作作品として完成させる。そこで、専門分野がテーマならば、主題専門分野の情報資源について調査するのであるから、当然、知識が深められたと考えられる。

また、発想や構想の元が専門分野であるこ

とで、調査した情報を咀嚼して知識に取り込み、加工する。その過程でも、より一層、知識が深められたと思われる。

ケースとして取り上げた『花の魔法』では、イラスト付き見習い魔女の物語を参照して、イラストが魅力的な物語が完成した。同様に、『かんむりひめ』は、辞典や旬のカレンダー、調理法を精査して、魚偏の漢字と魚の旬と料理を盛り込んだ物語となった。『あなたの世界はどんなもの?』は、多数の物語や絵本を参照して、抽象的なテーマを扱いながらも、子どもに親しみやすい絵本にまとまった。いずれも、調査対象とした情報資源に忠実に、創作作品が完成している。

4. 専門分野ではないテーマ

第14回第15回授業では、受講生同士で作品を閲覧させた。このとき、高評価を得た2作品は、どちらも専門分野をテーマとしたものではなかった。2. 4. 「関心の度合いの強いもの」をテーマとしている。このケースも司書養成としての学びがあったのか、検討しておく。

なお高評価とは、One Driveで他の受講生の完成作品を閲覧し、「評価と振り返り」シートを提出させており、このシートに設けた総合得点を計算した結果である。

4. 1. 中国ポップカルチャー

「第7回テーマの発想」では「中国」のほか「平安～鎌倉」や「戦国時代」など国文化らしい発想があった。ここから「中国、現代、文化、サブカルチャー」に絞り込み、「第8回情報資源の調査」で『Q&Aでわかる中国人とのつき合いかた』や日本語のインターネット情報資源「Fun! Fun! China!」と中国

語のインターネット情報資源「百度百科」⁹⁾を選び、「中国と日本の生活習慣の差」や「身近な文化」を調査した。「第9回テーマの深掘り」では、登場人物も物語の展開も、ほぼ確定した（以下の引用における下線は、当該受講生が大事だと思った部分である）。

②登場人物

- ・パンダ（案内役・漢服（或いはカンフー）を着ている）
- ・日本の女子大生（中国についてはあまり知らない）

③展開や設定

大学で中国語を履修した女子大生に、中国ってちょっと面白いと思ってもらえるような事をゆるっと教えてくれるパンダの話。勉強には役立たないが、興味を持ってもらえるように。

完成した作品では、登場人物が手描きのアイコンで表現された（図6参照）。

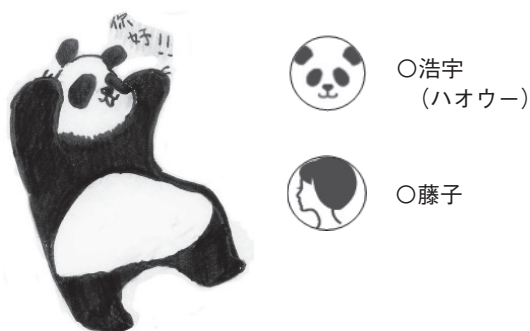


図6 『中国ポップカルチャー』イラスト

図6左の大きなパンダは表紙イラストで、「你好!!」（中国語で「こんにちは」）と書いてある。右のアイコンは、2ページ目から提示される。アイコンの右に登場人物の説明として、パンダ・浩宇「パンダの男の子。中国

の事を色々教えてくれるよ。名前の由来は中国の男の子の名前ランキング1位の名前。」と、女の子・藤子「大学生の女の子。中国の事はよく知らない。」を紹介する。3ページ目から、この2人のアイコン脇に置かれた枠囲み、つまり、通信アプリのLINEをイメージしたレイアウトで、会話文が展開する。流行のドラマをスマートフォンで見える方法や中国のアイドル事情、中国人がよく使うスマートフォンアプリ、中国の通販での買い物の注意点など、情報量が多い。最後に、受講生が撮影したと思われる、中国からの通販で届いた荷物の画像が示され、パンダが「実際に届いた荷物がこちら！ 見にくいけど穴が開いてたり、角がへこんでたりするよ！」と注意を与える。

受講生からのコメントは、情報量の豊富さ、展開の面白さが指摘された。以下、2名のコメントを抜粋する。

- ・絵が上手、中国の知らなかった情報が豊富、面白い。
- ・各アプリなどの説明が分かりやすく、会話の起承転結もしっかりしていて読んで面白い。

4. 2. イギリス

イギリスをテーマにしたものは、タイトルは単に「イギリス」でなく、『東の間イギリス紀行』である。全ページで、フリー素材のイラストや画像を組み合わせ、図版が豊富である。イギリスの紅茶文化を中心にイギリス文化を解説しており、イギリスを一瞬、訪れたような気分させてくれる構成である。

「第8回情報資源の調査」では英国ファンタジーや漢字、夏目漱石のロンドン留学につ

いて調べ¹⁰⁾、イギリス文化・歴史のなかで紅茶に注目した。この段階で、既に登場人物がヴィクトリア朝時代の紳士と女子大生に絞られている。また、場所を「ロンドンのカフェ」としている。

当初、イギリスを旅行中の女子大生の前に現れる紳士、という設定であった。そのまま進めば、テーマこそ違おうが、『中国ポップカルチャー』に近似した展開である。主人公が女子大生で、その女子大生にメインテーマを解説するのが、テーマを代表するキャラクターとなっている、という展開である。

しかし、「第11回ストーリーの展開」で「いつか大好きなイギリスに行くことが夢」という大学生・えまの前に、本の登場人物として本の中から現れる、という構想へ変化した。すると、展開を支える物語の構成は、やや複雑になる。現代を生きる女子大生の前に現れるのは本の登場人物であり、本の世界と現実世界とが交錯する展開となったのだ。

この点は、受講生からのコメントでも注目され、評価されていた。コメントは、展開に違和感がなく情報量が多いこと、イラストや画像を組み合わせたレイアウトが巧みであることを指摘する。以下、2名のコメントを抜粋する。

- ・絵本から出てきた人物が案内するという発想が良かった。イラストも多く、簡潔な説明も非常に分かりやすかった。
- ・導入と終わり方も違和感が無かった。紅茶、アフタヌーンティーにフォーカスした内容で、細かい情報も得られ、画像とイラストの組み合わせ方が上手い。

4. 3. 関心事を調査して構想、発信すること
関心事をテーマとして情報資源を調査することは、自らが知りたいと思うことについて情報収集するためか、比較的、幅広い情報資源を当たっていて、「第8回情報資源の調査」の結果も、完成した作品も、情報量豊かであった。

情報量が豊かであることは、ある主題についての知識を深められる。一方で、創作活動においては構想として情報をどう扱うのか、難易度が上がる。ここで、今回の創作活動ではキャラクターの発案を促しており、キャラクターが中国ならばパンダ、イギリスならばフロックコートで髭のある紳士というように、キャラクターの造形を手掛かりにすることで、構想の決定を助けたと思われる。

完成した創作作品は、結果的に情報量が豊かで、物語の展開は読者の関心を引きやすいものであった。受講生のコメントでは、情報量や展開に関する高評価が認められた。このように、関心事を調査して創作作品として構想し、完成させて発信すること、読者の手に届くことは、「国文学と国語学」ほか、専門分野の知識を深めることとは言い難いが、司書養成として、シラバス「授業の到達目標」²⁾に示す「利用者のニーズに応じた編集や構成」を学ぶ目標は果たせた。

5. 今後に向けて

創作活動におけるテーマは、担当者の想定では「受講生の専門分野」であり、「主題専門分野の知識」を深められるものと期待したが、結果的に受講生の関心事を含め、多様性が認められた。しかし、専門分野であったとしても、そうでない各々の関心事であったとしても、司書養成科目としての到達目標は果

たされることを確認した。

ただし、創作活動において遠隔授業であることは（One Driveでは他の受講生の作品閲覧だけでなく、課題進捗の共有もしたもの）、円滑な授業進行となっていたのか、担当者としては疑問が残った。準備段階の製作物『みつけてみよう』を提出した19名中、2名が本科目で2作目となる創作作品を提出できなかったことから、次年度はなるべく対面授業を実施し、教員や受講生同士の対話を創出することで、発想や構想を円滑にできるのではないだろうか。今回の授業方法と比較してみたい。

参考・引用文献・注

- 1) 桂まに子「地域連携型司書養成の実践：『地域社会の課題やニーズを把握する能力』の習得に向けて」『京都女子大学図書館情報学研究紀要』第7号、京都女子大学、2020年、p.1
- 2) 必修科目を発展的に学習し、理解を深める観点から、図書館情報資源について深く掘り下げ、かつ、幅広い視点での理解を深められる。具体的には、製作を通して、図書や小冊子類の表現手法や情報において質を保証することを習得する。また、鑑賞を通して、利用者のニーズに応じた編集や構成についての視点を培う。
- 3) 生涯学習政策局社会教育課「2 研修の課題と改善方策」Ⅱ. 図書館職員研修の充実方策についての議論の整理『図書館職員の研修の充実方策について（報告）』文部科学省、2008
https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/tosho/teigen/08073040/002.htm (2021年1月18日閲覧)
- 4) 設樂馨「図書館司書課程における新図書館を活用したアクティブ・ラーニング授業の展開」『京都女子大学図書館情報学研究紀要』第5号、京都女子大学、2018年、p.31
- 5) 「ジャパンナレッジ Japan Knowledge Lib」<https://japanknowledge.com/library/> (2021年1月25日閲覧)
- 6) 南房 秀久『トリシア、ただいま修業中!』学研、2004年、小笠原智史（絵）
南房 秀久『トリシア、先生になる!?!』学研、2007年、小笠原智史（絵）

- 南房 秀久『トリシア先生、大逆転!?!』学研、2009年、小笠原智史（絵）
- 7) 小川環樹 [ほか] 編『角川新字源改訂新版』KADOKAWA、2017年
「キナリノ」<https://kinarino.jp/cat4-%E3%82%B0%E3%83%AB%E3%83%A1/38947-%E8%84%82%E3%81%8C%E3%81%AE%E3%81%A3%E3%81%A6%E3%81%84%E3%82%8B%E3%81%AE%E3%81%AF%E3%81%84%E3%81%A4%EF%BC%9F%E6%98%A5%E5%A4%8F%E7%A7%8B%E5%86%AC%E3%80%90%E6%97%AC%E3%82%AB%E3%83%AC%E3%83%B3%E3%83%80%E3%83%BC%E3%80%91%E9%AD%9A%E4%BB%8B%E7%B7%A8> (2021年1月25日閲覧)
 - 8) 橋部敦子（脚本）、木俣冬『僕らは奇跡でできている』扶桑社文庫、2018年
サン＝テグジュペリ（原作）、マーク・オズボーン（監督）、堀あいえ（訳）『星の王子さま』徳間書店、2015年
ヨシタケシンスケ（作）、伊藤亜紗（そうだん）『みえるとかみえないとか』アリス館、2018年
レオ・レオニ（作）、谷川俊太郎（訳）『スイミー』好学社、1969年
ジャスティン リチャードソン、ピーターパーネルほか『タンタンタンゴはパパふたり』ポット出版、2008年
 - 9) 本名信行『Q&Aでわかる中国人とのつき合いかた』大修館書店、2018年
「Fun! Fun! China!」<https://www.funfunchina.net/> (2021年1月25日閲覧)
「百度百科」<https://baike.baidu.com/> (2021年1月25日閲覧)
 - 10) 奥田美紀『図説英国ファンタジーの世界』河出書房新社、2016年
出口保夫『漱石のロンドン風景』研究社、1985年
小林信明『新選漢和辞典』小学館、2011年（受講生はWeb版を閲覧、ここには底本の情報を記す。）

※ワークシート一覧

（ワークシートの作成に当たり、得丸さと子『TAEによる文章表現ワークブック』図書文化、2008年後藤倫子『思考力を育てる実践！ 発表プロジェクト』凡人社、2019年を参考としました。）

第7回 アイデアの発想

①発想したことのメモ
②浮かんでくる言葉
※大事な言葉に下線を引く。
④下線の言葉をヒントに本屋や図書館の棚を閲覧、あるいは、OPACで検索
⑤改めて、今回のテーマは何でしょうか？

第8回 情報資源の調査

①調査する情報資源のタイトル・作者など
②調査結果 (テーマの参考になったこと)
※大事な言葉に下線を引く。
③さらに調査したいと思った情報資源があれば、書いてください。
④改めて、今回のテーマは何でしょうか？

第9回 テーマの選定

①前回の調査結果の要点
②テーマに関わる要点 主題 登場人物 場所 とき
③物語としての展開や設定で決めていること ※大事な言葉に下線を引く

第11・12回 登場人物・ストーリー (受講生へ提示した作例)

<p>①登場人物とその関係性</p> <pre> graph TD A["主人公・おとちゃん (ピアノ練習が嫌い)"] --- B["ピアノの妖精 (おとちゃんだけに見える)"] B --- C["妖精の召使 白鍵"] B --- D["妖精の召使 黒鍵"] B --- E["妖精の召使 椅子"] B --- F["妖精の召使 譜面台"] </pre>	
<p>②ストーリー 1 起承転結など おとちゃんの前に妖精登場。 ピアノ練習が楽しくならないか相談する。</p>	<p>②ストーリー 2 妖精が召使・白鍵と黒鍵を紹介。鍵盤の話を知っていると、音をきれいに弾くコツがわかって練習が楽しくなるらしい。</p>
<p>②ストーリー 3 白鍵がイスとおしゃべり。2人とも明るい。イスの高さを調整してピアノが弾きやすくなる。</p>	<p>②ストーリー 4 黒鍵が譜面立てとおしゃべり。2人とも少し皮肉屋。弾くときは、譜面の先を読んでメロディーをイメージしないと指がつかない、と教える。</p>